

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅰ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	3単位	教科書	改訂版 数学Ⅰ Standard（東京書籍）				
副教材	改訂版	Standard Buddy WIDE	数学Ⅰ＋A（東京書籍）				
	改訂版	NEW ACTION FRONTIER	数学Ⅰ＋A（東京書籍）				

学習目標	数と式、集合と論証、2次関数、図形と計量、データの分析の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力、態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を実に定着させます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	1章 数と式 3節 1次不等式 2章 集合と論証 1節 集合 2節 命題と論証 3章 2次関数 1節 関数とグラフ 2節 2次方程式・2次不等式	不等式の性質について理解し、それを利用して1次不等式や連立不等式を解けるようにします。 集合と論証に関する基本的な概念を理解します。 2次関数とそのグラフについて理解し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識し、それらを事象の考察に活用します。
2学期	第4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 2節 三角比の拡張 3節 三角形への応用 第5章 データの分析	三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに、それらを事象の考察に活用します。 統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握します。
3学期		

備考	各定期考査までに、数学ⅠまたはⅡと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第4学年	類型	共通
単位数	1単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	新課程 教科書傍用 クリアー数学Ⅱ＋B（数研出版）						

学習目標	式と証明、複素数と方程式の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期		
2学期		
3学期	第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式・不等式の証明 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式	3次の乗法公式や因数分解、及び整式の除法や分数式の四則演算について理解し、それらの計算をします。 等式や不等式が成り立つことを、それらの基本的な性質や実数の性質などを用いて証明します。 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算をします。また、2次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解します。 因数定理について理解し、それらを用いて簡単な高次方程式を解きます。

備考	各定期考査までに、数学ⅠまたはⅡと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学A	学年	第4学年	類型	共通
単位数	2単位	教科書	改訂版 数学A Standard（東京書籍）				
副教材	改訂版	Standard Buddy WIDE	数学Ⅰ＋A（東京書籍）				
	改訂版	NEW ACTION FRONTIER	数学Ⅰ＋A（東京書籍）				

学習目標	場合の数と確率、図形の性質の考え方について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確かつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学と人間の活動について、数学的活動を通して、それらを論理的に考察できるようにします。 数学的な見方や考え方の良さを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題に取り組むことで技能を定着させます。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の復習に取り組むことで学習内容を確実に定着させます。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	場合の数についての基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを事象の考察に活用します。 具体的な事象の考察を通じて順列及び組合せについて理解し、それらの総数を求めます。
2学期	1章 場合の数と確率 2節 確率とその基本性質 3節 いろいろな確率 2章 図形の性質 1節 三角形の性質 2節 円の性質 3節 空間図形	独立な試行や条件付き確率の意味を理解し、その確率を求めます。また、それを事象の考察に活用します。 平面図形や空間図形についての理解を深め、それらを事象の考察に活用します。 三角形、円に関する基本的な性質について、それらが成り立つことを証明します。
3学期	3章 数学と人間の活動 1節 整数の性質 2節 整数の性質の活用	約数や倍数、除法の性質を理解し、それらを活用して簡単な整数の性質の解明に応用できるようにします。

備考	各定期考査までに、数学ⅠまたはⅡと数学Aは直列方式で授業を行い、定期考査はそれぞれ行います。
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1 学期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 章末問題	直線や円の方程式について学習し、円と直線の関係を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりを持った部分を表すことを理解します。
	第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理 章末問題	三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導いて活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、利用できるようにします。
2 学期	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 章末問題	指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。
	第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法 章末問題	具体的な事象を通して微分・積分の考えを理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。
3 学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	新課程 書き込み式シリーズ〔標準〕教科書傍用 Study-Upノート 数学Ⅱ（数研出版）						

学習目標	図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能に習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

学習計画及び内容		
	単元	主な学習内容
1学期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	直線や円の方程式について学習し、円と直線の関係性を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりを持った部分を表すことを理解します。 三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導いて活用し、2倍角の公式や半角の公式を導き、利用できるようにします。
2学期	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化	指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。 具体的な事象を通して微分の考えを理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることができるようにします。
3学期	第3節 積分法 問題演習	具体的な事象を通して積分の考えを理解します。それを用いて面積を求めることができるようにします。 問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	第 5 学年	類型	サイエンス
単位数	3 単位	教科書	新編 数学Ⅱ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	図形と方程式、三角関数、指数関数と対数関数、微分法と積分法の考えについて、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能に習熟し、定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週4時間で2学期末までに履修を終了します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1 学期	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	直線や円の方程式について学習し、円と直線の関係性を調べます。また、軌跡とその求め方について学習し、不等式が座標平面上のある広がりを持った部分を表すことを理解します。 三角関数の相互関係や性質について確認し、グラフを描き、最大・最小が求められるようにします。加法定理を導き、利用できるようにします。
2 学期	第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法	指数を拡張し、指数関数を定義します。また、対数の意味と計算方法を理解し、対数関数を定義します。それぞれの関数のグラフを描き、性質を調べ、方程式・不等式を解きます。 具体的な事象を通して微分・積分の考え方を理解します。それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができるようにします。
3 学期		

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学B	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	2単位	教科書	新編 数学B（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	数列、統計的な推測について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 章末問題	数列の用語や記号を学習し、等差数列や等比数列などの代表的な数列及び数列の和に関する知識を身に付けます。和の記号Σを用いて数列の和を計算する方法や、漸化式で表される数列における一般項の求め方を学習し、また、数学的帰納法について考え方の特徴を理解します。
2学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 章末問題	標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解します。また、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察します。
3学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学B	学年	第5学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科 選択数学
単位数	2単位	教科書	新編 数学B（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ＋B（東京書籍）						

学習目標	数列、統計的な推測について、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。 数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	授業を中心に教科書、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】 定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】 定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む態度】 ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 章末問題	数列の用語や記号を学習し、等差数列や等比数列などの代表的な数列及び数列の和に関する知識を身に付けます。和の記号Σを用いて数列の和を計算する方法や、漸化式で表される数列における一般項の求め方を学習し、また、数学的帰納法について考え方の特徴を理解します。
2学期	第2章 統計的な推測 第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 章末問題	標本調査の考え方や確率変数と確率分布、二項分布と正規分布の性質や特徴、正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解します。また、確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察します。
3学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	1・2学期末考査及び学年末考査のみ試験を実施します。
----	----------------------------

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学Ⅲ	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	4単位	教科書	新編 数学Ⅲ（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅲ（東京書籍）						

学習目標	分数関数、無理関数、逆関数、合成関数、数列の極限、関数の極限、微分法、積分法について理解します。また、それらの内容の基礎概念を理解し、その基本的な知識や技能を習得します。知識や技能を的確に利用して問題解決を図る能力を養い、数学的な見方やものの考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。 副教材やプリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試しましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、課題、授業中の発言 ※2学期の中間考査までの評価をもって、数学Ⅲの評価とします。

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 関数 第2章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限 第3章 微分法 第1節 導関数 第2節 いろいろな関数の導関数 第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用	分数関数や無理関数のグラフの特徴を理解し、方程式や不等式に活用します。いろいろな数列の極限や数列の和の極限、関数の極限の概念や性質を理解し、極限を求められるようにします。 微分可能性と連続性の概念及びその関係を理解し、様々な関数における微分の演算・技法を習得します。また、高次導関数の概念を理解します。 様々な問題において、微分法を活用します。応用力を身に付けるとともに、グラフの概形をかけるようにします。また、速度、加速度の概念を理解します。
2学期	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 第2節 定積分 第3節 積分法の応用	扱う関数の対象を広げ、積分法の基礎を理解し、その計算を習得します。 いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の計算や回転体の体積の計算を求められるようにします。
3学期		

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学C	学年	第6学年	類型	サイエンス
単位数	1 単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学C（東京書籍）						

学習目標	複素数平面、2次曲線について理解します。また、それらの内容の基礎概念を理解し、その基本的な知識や技能を習得します。 知識や技能を的確に利用して問題解決を図る能力を養い、数学的な見方やものの考え方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。 副教材やプリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試みましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、課題、授業中の発言 ※1学期の評価をもって、数学Cの評価とします。

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第3章 複素数平面 第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標	複素数平面の概念について理解し、極形式や回転移動などを活用した図形的な考察を学びます。 放物線、双曲線、楕円について基本的な性質を理解し、2次曲線と直線との位置関係や平行移動を学びます。また、極座標、極方程式の概念を理解します。
2学期		
3学期		

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学C	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	2単位	教科書	新編 数学C（数研出版）				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学C（東京書籍）						

学習目標	ベクトルについて理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟をはかり、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てます。
学習の方法	授業を中心に教科書、副教材、プリントを活用して基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで技能を習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに再度の復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週5時間で1学期だけで履修を終了します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、課題、授業中の発言 ※1学期の評価をもって、数学Cの評価とします。

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 平面上のベクトル 第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形 章末問題 第2章 空間のベクトル 章末問題	ベクトルの基本的な概念や法則を理解し、その加法・減法など簡単な演算を学習します。また、ベクトルの内積とその性質について学習します。 位置ベクトルという考え方を導入し、線分の分点や図形の重心をベクトルで表します。またこの考え方を、図形問題に応用させる方法を学習します。 平面のベクトルの場合と同様に、空間のベクトルを定義します。そして空間における点・直線・平面とその相互関係を整理して、いろいろな事象の考察が空間のベクトルによってできることを理解します。
2学期		
3学期		

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅰ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	数学探究Ⅰ（今治東中等教育学校）				
副教材	新課程 書き込み式シリーズ〔標準〕教科書傍用 Study-Upノート 数学Ⅰ+A（数研出版）						

学習目標	数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数・確率、図形の性質の考え方について、それぞれの進路に応じた試験に対応できる知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。
学習の方法	問題集と演習プリントを活用して、基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで、技能に習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度復習に取り組み、確実に定着できるようにします。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数と式 第2章 集合と命題 第3章 2次関数	公式を利用した式の展開、たすき掛けの因数分解、無理数の計算、1次不等式、2次方程式の解法について理解し、反復練習します。 集合や命題について理解し、より発展的な問題を解く力を養います。 2次関数の基本事項を確認するとともに、方程式・不等式の間関係を理解し、反復練習します。
2学期	第4章 図形と計量 第5章 データの分析 第6章 場合の数と確率 第7章 図形の性質	三角比の定義、正弦定理・余弦定理を理解し、より発展的な問題を解く力を養います。 データを分析するときの基本的な指標について理解します。 順列や組合せ、確率の性質などについて理解し、反復練習します。 図形における基本的な性質を理解し、その活用を考えます。
3学期	問題演習	問題演習を通して、知識の定着を図ります。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅱ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 3教科
単位数	2単位	教科書	数学探究Ⅱ（今治東中等教育学校）				
副教材							

学習目標	主に数学Ⅰに関する復習を通して、基礎事項の定着を深め、発展的な問題にも取り組みます。 また、その知識や技能を深め、活用することで数学的な考え方やものの見方のよさを認識できるようにします。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を行いましょう。 プリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試しましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期	第1章 数と式 式の計算、式の展開、因数分解、平方根、1次不等式、絶対値 第2章 集合と命題 集合、命題と条件、命題とその逆・裏・対偶	各計算方法や性質、公式の理解を深め、様々な整式の計算の習熟度を高めます。 集合の概念を学び、必要十分条件、逆・裏・対偶等の命題の証明に習熟します。
2学期	第3章 2次関数 2次関数のグラフ、最大・最小、2次方程式・不等式、応用 第4章 図形と計量 三角比の値、三角方程式、正弦・余弦定理、図形への応用 第5章 データの分析 代表値、散らばりと四分位数、分散と標準偏差	2次関数の基本事項を定着させ、そこから発展的な問題を解く力を養います。グラフのイメージを基に場合分けの問題も学習します。 三角比の基本事項を定着させ、より発展的な問題を解く力を養います。 データの代表値について理解を深めるとともに、様々な値からデータを読み取る力を養います。
3学期	問題演習	全体的な習熟度の向上を目指します。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅲ	学年	第6学年	類型	ヒューマニティーズ 5教科
単位数	3単位	教科書	数学探究Ⅲ(今治東中等教育学校)				
副教材							

学習目標	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、式と証明、複素数と方程式、図形と方程式、指数関数と対数関数、微分法と積分法、数列、ベクトルの考え方について、それぞれの進路に応じた試験に対応できる知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確にかつ正確に活用する能力と態度を伸ばします。
学習の方法	演習プリントを活用して、基本的な知識の習得を図り、授業ごとの課題や週末課題へ取り組むことで、技能に習熟し定着できるようにします。 定期考査ごとに学習内容の定着度を確認し、考査の結果を再確認できるようにするとともに、再度復習に取り組み、確実に定着できるようにします。 週5時間で2学期と3学期だけで履修を終了します。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、課題、授業中の発言 ※2学期と3学期の評価をもって、数学探究Ⅲの評価とします。

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期		
2学期	第1章 数と式 第2章 関数と方程式・不等式 第3章 式と証明・論理 第4章 整数の性質 第5章 場合の数・確率 第6章 図形の性質 第7章 図形と式 第8章 三角・指数・対数関数 第9章 微分法・積分法 第10章 ベクトル	まずは、教科書の例題レベルの問題で、公式・定理の基本的な使い方を確認します。そして、教科書+αの問題で重要テーマの考え方・解法をマスターし、模試の問題や入試問題にチャレンジして実力を付けていきます。 大学入学共通テストに向けて、過去の問題を利用しながら、マーク問題の学習をしていきます。
3学期	第11章 数列 第12章 データの分析 問題演習	大学入学共通テストや進学試験に向けて、過去の問題を利用しながら学習をしていきます。

備考	
----	--

令和8年度 愛媛県立今治東中等教育学校シラバス（後期課程）

教科	数学	科目	数学探究Ⅳ	学年	第 6 学年	類型	サイエンス
単位数	2 単位	教科書	数学探究Ⅳ(今治東中等教育学校)				
副教材	NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅰ+A（東京書籍） NEW ACTION FRONTIER 数学Ⅱ+B、NEW ACTION FRONTIER 数学C（東京書籍）						

学習目標	今まで習ってきた高校数学の問題演習を通して、数学的な知識や技能の習熟度を高め、数学的な見方やものの考え方の良さを認識できるようにします。 様々な問題を解くことで、考える力を養い、世の中の様々な事象を数学的に解決できる力を高めます。
学習の方法	予習をしっかりとした上で授業に臨みましょう。授業で自分が疑問に思ったことや分からなかったことを解決し、復習を通して学んだ知識の定着を図りましょう。 演習プリント等で、問題演習を行い、問題を解く力や応用力を養い、定期考査でその成果を試みましょう。
評価の仕方	観点別評価規準に基づいて評価します。 【知識・技能】定期テスト、ノート、小テスト 【思考・判断・表現】定期テスト、発表、ノート 【主体的に学習に取り組む姿勢】ノート、課題、授業中の発言

	学習計画及び内容	
	単元	主な学習内容
1学期		
2学期	第1章 数と式・論理 第2章 関数と方程式 第3章 データの分析 第4章 場合の数と確率 第5章 平面図形 第6章 図形と方程式 第7章 三角比・三角関数 第8章 指数・対数関数 第9章 微分法・積分法 第10章 数列 第11章 統計的な推測 第12章 ベクトル	各種計算問題、方程式・不等式に関する問題、各種の証明問題、データの分析の問題、順列や組合せの問題、確率、図形の性質に関する問題、図形と方程式に関する問題、軌跡・領域に関する問題、三角比や三角関数に関する問題、指数関数や対数関数に関する問題、導関数、関数の増減・極値に関する問題、最大・最小の問題、積分を利用した面積に関する問題、各種の数列の問題、数学的帰納法に関する問題、統計的な推測に関する問題、ベクトルの平面図形や空間図形に関する問題、空間座標や球面に関する問題、さらにそれらの応用問題を解きます。
3学期	問題演習	問題演習を通してさらに問題を解く力を鍛えます。

備考	
----	--